


アカデミック英語 No.8 【最終回】

英語で結論を出す

—— In conclusion ・ Therefore ・ Ultimately を使った締め方

 **今日のゴール**： 英語論述・面接の「締め」を完璧に決める結論表現を習得する。In conclusion / Therefore / Ultimately / To sum up / Thus の正確な使い分けと、「論点の要約→主張の再確認→展望・行動提起」という結論段落の3ステップ構造を身につける。全8回の総まとめとして、論述の全体構造（冒頭→本論→結論）を統合する。

 結論表現の主要表現と使い分け

| 表現 | ニュアンス | 使いどころ |
|--------------------------|----------------------|--------------------|
| In conclusion, ~ | 「結論として」最もフォーマル | 論述の最終段落の冒頭。論文・小論文 |
| To conclude, ~ | 「締めくくると」やや柔らかい | 論述・面接どちらにも使える |
| Therefore, ~ | 「したがって」論理的帰結 | 根拠から結論が導かれるときに使う |
| Thus, ~ | 「こうして」therefore より簡潔 | 短い論述・学術論文の締め |
| Ultimately, ~ | 「究極的には」最も深い結論 | 哲学的・倫理的議論の締め。印象に残る |
| To sum up, ~ | 「要約すると」内容を整理する | 複数の論点をまとめるとき |
| All things considered, ~ | 「すべてを考慮すると」 | 賛否両論を扱った後の総合判断 |

採点者の視点

採点者はここを見ている —— 英語・結論表現で合格答案はこういう「構造」をしている

① なぜ同じ答えでも評価が違うのか

清光学院の講師陣は、これまでに皆さんと同じ志を持った先輩受験生たちの答案を何千枚も採点し、合格・不合格の判定を下してきました。その経験から言えることが一つあります。

「正しい内容を書いても、論理の構造が見えない答案は、採点者の印象に残らない。」

英語・結論表現では、結論表現の使い分け根拠の理解が答案の質を大きく左右します。

② 英語・結論表現で採点者が見ているポイント

「In conclusionは論文型・Thereforeは因果関係型・Ultimatelyは強調型と使い分けた」と示した答案が高評価

 この授業の使い方

各問題のワンポイントには「採点者がどこを評価するか」の視点が含まれています。答えを出すだけでなく、根拠を一文添える習慣を意識しながら取り組んでください。

③ 総合型選抜・口頭試問でも同じ構造が問われる

採点者（大学教員）が口頭試問で確認したいのは「答えが出るか」ではなく「思考の構造を説明できるか」です。この授業で習得する「論理を俯瞰する」視点は、あらゆる試験形式に通用します。

続きは講義でご覧いただけます

この教材には、採点者の視点・核心的な解法・入試問題・演習・まとめがさらに収録されています。

大学教授陣が設計した「普通の授業では出会えない接続点」を体験できる完全版は講義でご提供いたします。

清光学院 AP SEIKO 理系講座 © 清光教育総合研究所